

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 有限会社てくてく ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			社長・正社員・パートやアルバイトなどの立場を乗り越えて、運営や経営方針等重要な案件に至るまで、ほとんどを総員で話し合っており決定しています。性別や年齢・障がい					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメントに関しては社員全員の意識が高く、常にハラスメントがないか自分と周囲に問いかけています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			原則として残業はありません。特定の従業員に労働時間やタスクが偏らないように、スキルの平準化を進め、複数の従業員が業務に携われるようにすることで長時間労働の防止に取り組んでいます。働き方改革の勤務制やフレックスタイム制度を導入しています。								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		外国人労働者の雇用はありません。将来的にはぜひ積極的に外国人の雇用を進めていきたいです。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			小売業のため労働における事故等はほとんどないです。食中毒や感染症対策として手洗いを励行しています。合			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			何でも言い合える雰囲気を作り、家族的で温かい社風を目指しています。年数回食事をやって親睦を含めています。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	現在具体的な取り組みはしていませんが、多様な人材が活躍できる環境は大事と考えています。マイノティーであっても、社内でハンディキャップを負う必然性は一切ありません。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			小さい会社でするので制度的なものはありませんが、頻繁にスキルアップのための勉強会やセミナーを催しています。社外のセミナーへの参加は積極的に進めています。				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働であれば雇用形態や性別・年齢によって差異があってはいけないと考えています。労働基準法を順守しています。					5.5			8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			健康に寄与する商品を販売している店舗において、自社商品を社員が割引価格で購入できるようにしています。正従業員は年一回健康診断を受けています。健康は生産性向上のためではなく、等しく享受すべきもの			3					8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			プラスチック等の資源にならない廃棄物ができる限り出さないよう分別と削減に努めます。有害な廃棄物は購入・廃棄											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			温室効果ガスの数値化の方法がわかりませんが、ガス・電気代は少なくしていくよう努力しています。							7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			温室効果ガスの数値化の方法がわかりませんが、排出抑制には取り組んでいます。							7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		法令等で規制されている有害化学物質の所有はありません。			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																									
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			生態系に悪影響をおよぼさないオーガニックの食品や合成界面活性剤を使わない石けん、生分解しないプラスチックを使わない日用品などの販売を業務としています。販売商品以外、レジ袋削減に創業当時から取り組んでいます。購買に影響のあるリデュースについて言及する企業は少ないと思いますが、2024年10月現在具体的な取り組みが不明です。						6.6									15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）														13		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）	【非該当】		該当せず						6.4 6.6													
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）	【非該当】		該当せず			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			紙媒体の通信やSNS、ブログ等で、当社の姿勢については時々書いています。												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			太陽光パネル、雨水タンクを設置しています。【予定】グリーン電力の使用を進めていきたい							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			レインフォレストアライアンスやRSPO、MSC認証などのラベルの付いた商品を販売するだけでなく、備品や資材にも積極的に環境ラベルの付いたものを調達しています。薪ストー													12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）	【非該当】		特になし																16 16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）	【非該当】		特になし。																16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）	【非該当】		特になし								8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			社内でも unnecessary 個人情報を収集・所有しないよう意識しています。マイナンバーの提出を受けていません。																16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			紛争鉱物及びその副産物は取り扱っていません。																	16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			SDGsやエシカル消費、フェアトレード運動には積極的に関与して、地域の各種団体にかかわったり、社会的に広がるための広報活動をしています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	2028年5月登録予定			3				8	9	10								17		

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）		人体に有害、または影響が懸念される農薬・化学物質・環境ホルモン・化学合成添加物・遺伝子組み換え食品等は販売しないように努めています。自社商品は、細菌検査を随時外部機関に依頼。仕入れ商品は消費期限や状態等を月間で確認			3.9								12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）		週一回のミーティングで品質のよいモノやサービスを提供するための会議をしています。農業や化学肥料を使わずに育てた農産物や、児童労働や貧困の解決を目指すフェアトレード食品、再利用できる歯ブラシや生理用品、持続可能な養殖によって生産された海産物(®エゴシロイト)、アミノ酸肥料やオーガニック肥料								9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		製品開発は行っていません。							6					12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		社会課題を解決する製品ののみ取り扱っています。誰一人取り残すことがなく、豊かな環境・健康・幸福を享受するために貢献できるモノの流通に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）		フェアトレードタウンの認証を受ける団体の活動に参加しています。また地域のSDGsイベントや学習会に積極的に関わっています。環境に配慮した製品により、社会や健康				4				9		11	12		14	15		17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		シャブラニール・SVA曹洞宗ボランティア、ネバリバザーロ等の寄付やチャリティーに参加しています。毎年市が主催し開催されるエシカルマルシェに参加し環境問題への啓発活動をしています。				4						11			14	15		17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）		地元の有機農産物や無添加食品を積極的に販売しています。									8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）		経営理念(https://www.tekuteku.co.jp/3s/)を策定。社内 で共有しています。									8	9							17	
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）		就業規則に明記してあります。コンプライアンス意識について社内ですピーティング、共有しています。																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）		全員が企業活動が社会・環境に及ぼす影響について配慮するようにしています。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）		当店の顧客に対して、印刷物やSNSで環境への配慮について発信しています。関わりのあるすべての個人・組織はステークホルダーではなくメンターだと思っています。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）		特になし																	16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		持続可能で幸福な社会の創出を願っています。																	16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）		いいえ										9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）		いいえ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定